

せんがわまちニティ活動の50年の歩みとこれから ～仙川共和国を拓く温故知新／人と情報の宝庫～

せんがわまちニティ情報センター 青野 友太郎

せんがわまちニティ情報センターは、

東部公民館の開館初年度における「新しき街・せんがわ／今日そして明日」の3回のシンポジウムの参加者70余人の参画でスタートした。

1978年1月15日に「設立趣意書」を次のとおり作成し、明確な方針の基にトータルな活動に着手した。

せんがわ（緑ヶ丘、仙川町、若葉町、入間町）の空間での
住む人（1万世帯2.5万人）と働き、学び、買物、遊びにくる人達による
新しき街・せんがわ（文化と福祉の結びついた街の生活）づくりへの試み

- ◇ せんがわのまち、とにかく気に入っているという人が多い。
- ◇ でも、実際のところせんがわはいま“素敵な”まちになりえているかどうか？
- ◇ いま、せんがわのまちは、どこへいこうとしているのだろうか。
- ◇ いままで、私たちは遠くの方ばかり眺めていて、自分の足もとにころがっている、大切なものをみようとしませんでした。
- ◇ この世紀末を21世紀に向けて拓くために、日本の各地で、ひとは、むらは、まちは、いま己の“風と土と心”を問うことから、各々の歩みを始めている。さて、せんがわのまちでは。

「その活動」において、15テーマを掲げたが、次については着手・実現した。

ロ) まちシンポジウムの開催

ハ) まちコミ誌『せんがわ・21』の刊行

・創刊号（1978.8）から25号（2019・秋）及び2冊の号外号

ト) 仙川紅白歌合戦の開催

・「輝け仙川！町内音楽祭」をスペース仙川で、1980年1月と84年3月に。

チ) せんがわボロ市の開催

・わざわざ座の公演日に入口で。神代書店の2階の中庭空間でも。

リ) せんがわ自由大学

ワ) 実篤と新しき村。仙川フォーラムの開催

・新しき村創立70周年（1988年）及び100周年（2018年）に桐朋学園ポロニアホールで。

これらの諸活動は、東京都及び日本国から半独立した「仙川共和国」創設へのチャレンジ!!

してくれる人。

維持費者会費…10000円の随時カンパ

・町の先生、プロとして、この活動への助言と協力をしてくれる人。このせんがわに住み、又かわり意識を持つ人で、学びの原点にもとって、フレッシュな話をしてくれる人。年に一度は、基本的に手弁当で、講義や執筆をしてくれる人。

・事務局スタッフ、センターの持続的な運営のために、若手名の専従、半専従のスタッフをおき、有給とする。

▼その運営

有志のボランティア活動が基本で、チェ・パワー・カネを持ち寄り、センターの維持運営にあたる。将来的には、コミュニティ財団の設立や公益信託の活用なども含めて、地域の新たな共同財としてのあり方を追究する。新しきまちせんがわ基金、地域の人のための浄財をあおぎ、新しき街づくりへの諸活動の資金にあてる。

■最近の活動から（92年6月～11月）

仙川まちづくり土曜サロン

第一回、駅周辺のまちづくり計画と仙川の将来。

―激変の90年代、新しき街づくりに向けて―

①仙川駅周辺地区計画の歩みとこれから

伊藤恭二氏／パシフィック総合開発

②風土・地政からみた仙川のまちの将来

山下信男氏／NOMOS研究会

第二回、地区計画と、仙川のまちづくり。

―今、改めて地区計画を学ぶことから―

①スライドで学ぶ。個性豊かなまちづくり。

『地区計画―制度編』及び『事例編』

②まちづくりにおける、計画と、事業。

山本雅之氏／地域社会計画センター

第三回、都市計画と街づくり戦略。

加川浩氏／加川設計事務所

第四回、アット・アット・ホームな街／仙川づくり。

①世界の中の仙川、仙川の中の世界

末吉保雄氏／桐朋学園大学

②今、仙川のまちづくりに大切なこと

山下信男氏／NOMOS研究会

第五回、増大する固定資産税、相続税等の対策。

―土地の「保有」から「活用」に向けて―

①平成4年度の税制改正と新土地税制のスタート

菅原徹也氏／菅原税理事務所

②資料にみる、新定期借地権、の制度と活用

大脇正昭氏／地域科学研究会

第六回、夢を共有できる街になれば最高だ。

―仙川は世界の中心になれるか―

山岡義典氏／プランニング・コンサルティング

「せんがわ21&まちニティ」の右記のHPが不都合によりコンテンツの更新が出来ない状況が続いている。「情報センター&せんがわ21について」「バックナンバー」「リンク等」で構成される。

「バックナンバー」においては、2号／3号／5号／18号は工事中のままである。「リンク集」は「ようこそ、新しき街せんがわへ」ということで、「演じる・見る・聴く」「学園・学校」「創る・習う」「食べる・飲む・憩う」「着る・装う・飾る」「住まう・くらし」「からだ・こころ」等のジャンルで、仙川地区の諸団体・企業のHPにリンクしている。

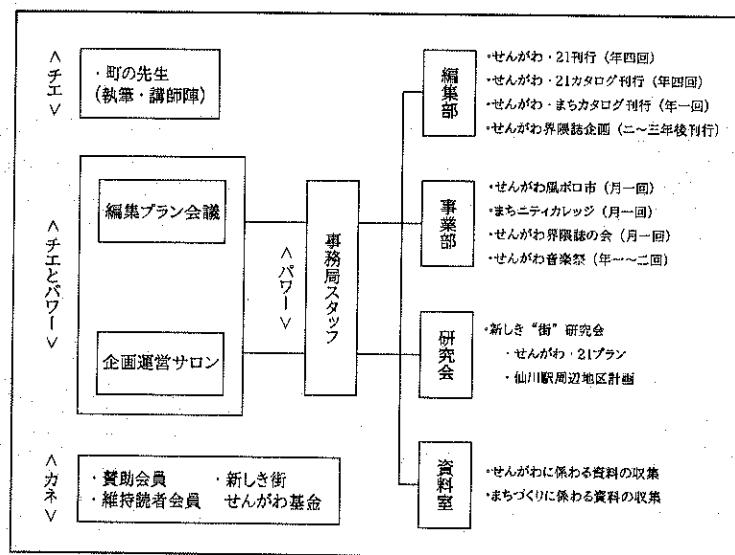
HPの二次元コードと、その下にアドレスを入れるのでよろしいですか？

現在、11月3日の「文化の日」に「せんがわ“フリー図書室”」をオープンすべく準備に入っている。本好きびとのサロンとして、次のコンセプトを掲げる。

- ・持ち出し、持ち込みは自由
- ・本は捨てないで読みたい人の手元に
- ・ジャンルは未分類、未整理のまま
- ・子ども向け、大人向け別などはない
- ・出会い発掘の楽しみの妙
- ・いま読みたい人の手元にあることが本の幸せ

- ◇ 10時～22時（毎日／365日）でオープン
- ◇ 会員登録制（555円）
- ◇ 同人会費 カンパー口：1000円／年

乞ひ期待!!



▽その組織と活動（当面の活動内容）

設立趣意書でしようか？
活動開始当時の資料より抜粋

▼その目的

もともと身近な生活空間であるとともに、多くの魅力と可能性を秘めた、このせんがわの地において、風土と人を大切に生かした、新しき街・せんがわ・づくりを目指す。そのためにまず、このまちに住む人たちの間の、意志と情報と活動の交流を活性化し、各人の知恵や工夫を結びつける場として、この情報センターを位置づける。

▼その性格

せんがわにおける総合的な情報センターとして、せんがわの資料室、広報室、企画室の役割を担い、雑誌社やボランティアバンクやシンクタンクの機能を追及する。ここでセンターといっても、それは建物ではない。各個人、サクル、町内会、自治会、子供会、商店、企業、行政の間で、人と情報を結びつける働きであり、絶えずみんなに開かれた、無限にひろがるネットワークである。

▼その活動

当面の活動テーマを次の様に考えている。（具体的な活動イメージと内容は省略）

- イ、新しき街・せんがわ、をまちのキャッチフレーズへ
- ロ、まちシンガジュム、新しき街・せんがわ 今日そして明日、の開催
- ハ、まちミステリー「せんがわ・21」の刊行
- ニ、まちコミネットワーク、みんなの掲示板、システム
- ホ、スライド、せんがわ・風と土と心、の映像制作
- ヘ、新しき街の、鎮守の杜、構想——実地公園の生き
- ト、まちコンサートや仙川寄席の開催
- チ、せんがわボロ市や朝市の開催
- リ、せんがわ哲学堂講座の開催（自由大学）
- ヌ、せんがわデータバンクの設置
- ル、せんがわ百科の作成（文芸年鑑も）
- ラ、個展はせんがわで開こう
- ワ、「実地と新しき街」シンガジュムと美術展（春5月実地生誕祭の頃）
- カ、新しき街芸術祭（秋学園祭の頃）
- コ、新しき街や街との交流と連携など多様な多彩な諸活動を創出する。

▼その構成

メンバー、この活動の趣旨に賛同し、積極的な関心と参画の意志を持ち、チエとパワー（努力）をおしきない人。賛助会員、このセンターの目的と活動に賛同し、維持のために支援してくれる人。賛助会員会費：一口五〇〇〇円の随時カンパ。維持読者「せんがわ・21」の刊行維持のために支援